

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第 5 学年

【単元名】 「幅跳び団体戦～目指せNo.1～」 (C 陸上運動 ウ 走り幅跳び) (8 時間扱い)

【育成する資質・能力】

【知識及び技能】	【思考力, 判断力, 表現力等】	【学びに向かう力・人間性等】
リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。	自己の能力に適した課題の解決の仕方, 競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	運動に積極的に取り組み, 約束を守り助け合って運動をしたり, 勝敗を受け入れたり, 仲間の考えや取組を認めたり, 場や用具の安全に気を配ったりすること。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり : 5 歩か 7 歩の助走で, リズムカルな助走を意識しながら, 踏み切りゾーンで踏み切る走り幅跳びを経験した。(小学校第 4 学年)

働かせる見方・考え方 : 助走のスピードを生かして力強く踏み切り, 遠くに跳ぶことを競走したり記録に挑戦したりする楽しさや喜びとともに体力の向上を果たす役割の視点から捉え, 自己の適正に応じた多様な関わり方 (する・みる・支える・知る) と関連付けること。

段階	学習活動 (時間)	留意点
はじめ	1 学習の進め方を知り, めやすとなる記録を決めよう。(1)	<p>単元の学習の見通しをもつ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞理想の走り幅跳びを動画で視聴して共有し, 児童の言葉で単元の目標を設定する。
	2 みんなで単元の目標を決めよう。(1)	
<p>単元の目標 : 団体戦優勝を目指して, ポイントをおさえた動きをみにつけよう。</p>		
なか	3 助走の練習をしよう。(1) ・足が合わない時の練習の場 ・最後の 3 歩のリズムがうまくいかない時の練習の場	<p>基礎基本の確実な習得を図る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞走り幅跳びの動きの局面を「助走」「踏み切り」「空中姿勢・着地」の 3 つに分け, 局面ごとに追究するように促す。 ☞それぞれの局面で課題別の練習ができるようにいくつか練習の場を設定し, チームごとに追究していくようにする。
	4 踏み切りの練習をしよう。(1) ・足のうら全体で強い踏み切りの練習をする場 ・おへそを高く突き出したときの練習の場	<p>学習の見通しを更新する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞今まで行ってきた局面ごとの練習を撮影した動画を視聴して振り返り, 次時からの追究への目標を決める場を設定する。
	5 空中姿勢・着地の練習をしよう。(1) ・大きなバンザイにするための練習の場 ・腕を振り下ろし「ん」の字で着地の練習の場	
	6 自分の課題を明らかにしてグループ練習を行おう (オリエンテーション含む)。(1)	
	7 ポイントをおさえた動きができるように, 課題別の練習をしよう。(1)	<p>自他の学びや変容を自覚する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞チームごと, ポイントをおさえた動きになるように見合ったり教えあったりしながら追究できるようにする。
まとめ	8 いろいろなチームと対戦して単元のまとめをしよう。(1)	<p>自己の学びや変容を自覚する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞一人一人の技能の高まりを実感できるように団体戦を行い, 技能面の成果を振り返るとともに, 友との関わり合いのよさを実感できるようにする。

次単元へのつながり : 助走スピードを生かして素早く踏み切り, より遠くへ跳んだり, 競争したりする。(中学校第 1 学年)